

(様式1)

北海道北海道新十津川高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和8年度に重点化する取組及び具体的方策		
5つのミッション 8つの行動計画		行動計画の中で重点化する取組	目標達成 期 間	具体的方策
I グローバル教育で 人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	1 プロジェクト学習や各科目の研究活動により、個々の専門的な力を身につけ、主体的に学ぶ力を養います。 2 地域との販売会や交流活動で一人一役の役割を担うことで、自己肯定感を高め、社会性を養います。	A A	1 科目内でのプロジェクト学習により科学性を高め、地域の方や保護者に公開します。 2 日頃の学習成果を地域住民に伝えるため販売会で、生産物の栽培に関わる資料を作成します。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	1 アグロエコロジー教育により環境・食料・資源などの地球規模の課題を解決する学習を実践します。 2 有機JAS取得を目指した学習を展開します。	B B	1 プロジェクト学習を中心に課題解決学習を実践します。 2 有機栽培の実践と生産行程管理記録や資材管理記録等を作成すると共に収穫・調整する場所等の環境を整えていきます。
II 地域社会・産業に 寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	1 自然栽培により生産された大豆の味噌作りを実践し、その魅力と活用方法を多くの方に伝えます。 2 水稻の自然栽培の研究を進め、地域の方に、その研究成果を伝えます。	A A	1 地域特産物の研究を地域の方と連携して取り組みます。 2 町の有機農業推進協議会に加入し、地域の方と連携して研究します。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	1 小学校・中学校との連携による農業学習を推進します。 2 校内での生産・加工・流通の学習体系を通して、地域農産物の6次産業化の推進を目指します。	A A	1 水稻・サツマイモ栽培教室や出前授業などを通し、基盤産業である農業の魅力を伝えます。 2 うち米のスイーツ利用を模索し、商品化を目指します。
III 地球環境を 守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	1 自然栽培・有機栽培に取り組み、地球環境の保護・再生の教育を実践します。 2 緑肥栽培と不耕起栽培を実践し土壌環境の保護と作物の成長との関わりを教育します。	A A	1 水稻の自然栽培や各種野菜・作物の有機栽培の実践と研究活動を実践します。 2 越冬性ライ麦の緑肥栽培やアバパールによるカバークロープの不耕起栽培に取り組みます。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	1 酒米粉の地域資源を活用した製品開発を実践します。 2 緑豊かな街作りを目指す教育を実践します。	A A	1 酒米粉や米粉を活用したスイーツ開発に取り組みます。 2 地域花壇造成など植栽活動や花苗の販売活動に取り組みます。
IV 拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	1 企業・町との連携によるスマート農業学習を積極的に取り組みます。 2 テクノロジーと自然の融合を目指す教育を実践します。	A B	1 スマート農業学習を町産業振興課、北海道クボタと連携して取り組みます。 2 地球環境保護・再生の学習を基盤に、テクノロジーの活用を考えます。
V 推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	1 地震、火災、水害等の防災訓練に取り組むとともに、農業の持つ多面的機能を活用した地域防災に取り組みます。 2 災害時における様々な活動について学習を深めます。	A A	1 春季、秋季の防災訓練をはじめ、防災教育に取り組みます。 2 農業のもつ多面的機能(水田を活用した様々な機能)を学習し、災害時の対処方法についての知識を高めます。

